

第29回定期演奏会
Tokyo Sinfonietta the 29th Subscription Concert

東京シンフォニエッタ

2011/7/1 (金) 開演 19:00

19:00 Friday, 1st July 2011

東京文化会館小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Small Hall

室内オーケストラの領域Ⅲ

In the Field of Chamber Orchestra Ⅲ

指揮：板倉康明
Conductor : Yasuaki Itakura

ピアノ：藤原亜美
Piano : Ami Fujiwara

演奏：東京シンフォニエッタ
Ensemble : Tokyo Sinfonietta

猿谷紀郎：委嘱作品 [世界初演] (2011)
Toshiro Saruya: New piece commissioned

西村 朗：ヴィシュヌの臍 (2010)
Akira Nishimura: The Navel of Vishnu

藤倉 大：ヴァニシング・ポイント (2004/2006)
Dai Fujikura: Vanishing Point, for ensemble

ベネット・カサブランカス：ニュー・エピグラムス [日本初演] (1997)
Benet Casablanclas: New Epigrams

ヤイル・クラータク：双極性無秩序 [世界初演] (2009)
Yair Klartag: Bipolar Disorder, for chamber ensemble

* 第31回入野賞受賞作品 (2010)

入場料：一般 4,000 円 / 学生 3,000 円 主催：東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金 

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

公益財団法人 花王芸術・科学財団

公益財団法人 三菱 UFJ 信託芸術文化財団

第29回 定期演奏会 東京シンフォニエッタ

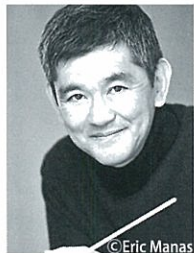
室内オーケストラの領域Ⅲ

In the Field of Chamber Orchestra III

2011年7月1日 金

午後7時開演 東京文化会館小ホール

第29回定期演奏会 室内オーケストラの領域Ⅲによせて



指揮：板倉康明

まず始めに、今回の東日本大震災において被災された方々に心よりのお見舞いを申し上げたいと存じます。また犠牲者の方々に衷心からのお悔やみを申し上げます。ある瞬間を境界として、生活すべてにわたって「それ以前」と異なってしまうという大きな出来事は、私ども一人一人の心に深く刻み込まれています。このような中で、より強く意識されるのは、何世代にもわたり無意識に受け継がれてきた、私たちの「文化」です。東京シンフォニエッタの大きな目的である、わが国の音楽作品を海外に向けて発信し、また良い形で次の世代へと引き継いでいく。言い換えれば、日本語を母語とする作曲家の作品を演奏していく。この状況下で幸運にも生きている私たちに出来るのはこのことだけです。今回は、藤倉大、西村朗による作品の再演、また猿谷紀郎による新作書き下ろしを中心として、日本文化をこよなく愛し理解しているカサブランカスの作品、また日本の作曲家の名前を冠したコンクール「入野賞」受賞作品をお届けいたします。改めて、生に感謝し、それを確かめ、私たちの文化をつないで行く責任を果たすため、演奏会を開きます。ぜひご来聴ください、ご共感いただければ幸いです。 東京シンフォニエッタ 代表 板倉康明

東京シンフォニエッタ (Tokyo Sinfonietta)

東京シンフォニエッタは、1945年以降の音楽の優れた演奏と、現在活動中の作曲家達の創作と直接関わることを目的として1994年に生まれました。以来、東京での定期公演や各種海外音楽祭への参加、世界各地での放送を通して、国籍も美学も異なる現在活躍中の内外の作曲家の作品を演奏し紹介してきました。

現代の作曲家の、非常に高度な要求に応えるべく結成されたアンサンブル。現代音楽とその演奏に対する深い理解、高い技術と自由な見識を持つ選りすぐりのソリストたち。東京シンフォニエッタとは、そういった素晴らしいスーパーソリストたちが作る室内オーケストラです。繊細かつ正確無比な現代の日本文化を音で表現するアンサンブルとして国内外で高い評価を得ています。そのような一連の活動に対して、2010年12月の「第28回定期演奏会-湯浅譲二特集」が、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」を受賞しました。



ピアノ：藤原亜美 Ami Fujiwara

東京芸術大学、パリ国立高等音楽院(1等賞)卒業。第3回オールアン20世紀音楽国際ピアノコンクール第1位。在仏中、各地での演奏の他、国営放送ラジオフランスに出演。現在東京を拠点にピアノソロ、室内楽の分野にて活動。数多くの日本初演に携わる。東京シンフォニエッタ、Ensemble sans-limiteのメンバー。現在東京音楽大学、日本大学芸術学部講師。ソロCDを「レグルス」よりリリースし好評を博す。

<http://homepage3.nifty.com/peces/>

◎次回定期演奏会の予告◎

2011年12月3日(土) 14:00~
東京文化会館小ホール

一柳 慧：新作初演、「レゾナント・スペース」
「トリオ・インターリンク」「ビトゥイーン・スペース・アンド・タイム」
シュトックハウゼン：「ツァイトマッセ」 他



猿谷紀郎 Toshiro Saruya

慶應義塾大学法学部卒業後、ジュリアード音楽院に留学。パーシケッティ、ベンツェ、ナッセンらに師事。これまで、タングルウッド、アルスフェルドの各音楽祭に招待される他、クーセヴィツキ音楽財団フェロウシップ賞、ミュンヘンピエンナーレ BMW ミュージックシアター賞、芥川作曲賞、出光音楽賞、尾高賞(1995、2006年)を受賞。1997年八ヶ岳高原音楽祭の音楽監督をつとめる。2003年蘭このみ舞踊公演「桜幻想」、薬師寺「最勝会」復興上演(「鼓音之楽」作曲)及びNHKドラマ「怪し野」の音楽がそれぞれ第58回芸術祭大賞及び優秀賞を受賞。2004年イシハラホール開館10周年記念公演「三井の晩鐘」の音楽にて佐治敬三賞を受賞。2009年よりNHK FM「現代の音楽」の司会を担当している。



西村朗 Akira Nishimura

東京芸術大学及び同大学院に学ぶ。日本音楽コンクール作曲部門第1位、エリザベト国際音楽コンクール作曲部門大賞、ルイジ・ダルツラピッコラ作曲賞、尾高賞(5回)、中島健蔵音楽賞、京都音楽賞、日本現代芸術振興賞、エクソンモービル音楽賞、別宮賞、サントリー音楽賞、毎日芸術賞等を受賞。この他、2002年度芸術祭大賞に「アルディッティ SQ プレイズ西村朗『西村朗作品集5』」が、2005年度芸術祭優秀賞に「メタモルフォーシス・西村朗室内交響曲」が選ばれる。2000年よりいずみシンフォニエッタ大阪の音楽監督。2003年よりNHK-FM「現代の音楽」の解説を6年間、2009年より「N響アワー」の司会を務め、2010年草津国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学教授。



藤倉大 Dai Fujikura

1977年大阪生まれ。15歳で渡英し、トリニティ・カレッジ、王立音楽院、キングス・カレッジなどで学ぶ。セロツキ国際作曲コンクール最年少優勝を始め、多数の作曲賞を受賞。エトヴェシュヤブルーエズから評価され、ルツェルン音楽祭、BBC プロムス、アンサンブル・アンテルコンタンポラン創立30周年記念等で作品委嘱を受け、ロンドン・シンフォニエッタ、アンサンブル・モデルン、ウィーン放送交響楽団、シカゴ交響楽団等で演奏されている。2008年ギガ・ヘルツ特別賞、2009年尾高賞、芥川作曲賞受賞。2010年中島健蔵音楽賞、エクソンモービル音楽賞をそれぞれ受賞。

<http://www.daijufukura.com/>



ベネット・カサブランカス Benet Casablancas Domingo

1956年バルセロナ生まれ。スペインの同世代を代表する作曲家の一人。バルセロナ、ウィーンに学び、F. チェルハ、K.H. フェッスルに師事。哲学の学士、音楽学の博士号を持つ。その音楽はモダニズムの伝統に根ざし、強い個性、複雑な構造、豊かなテクニクを特徴とする。作品はソロから管弦楽まで多岐にわたり、ヨーロッパは勿論、アメリカ、カナダ、南アフリカ等で、ロンドン・シンフォニエッタ、アルディッティ・カルテット、アンサンブル・モデルン、スペイン・ナショナル・オーケストラ、BBC 交響楽団等により演奏され、厳格な構造と力強い劇的な表現が高く評価されている。スペインで最も栄誉あるカタルーニャ州政府賞をはじめオランダ、アメリカ、モナコ等で賞を得ている。<http://www.accompositors.com/compositores-curriculum.php?idComp=29>



ヤイル・クラータク Yair Klartag

1985年、イスラエル生まれ、スイス在住。13歳よりピアノ、15歳より作曲を Michael Shenhav に師事。2010年、作曲家 Ruben Seroussi の指導の下、テルアビブ大学 Buchmann-Mehta School of Music の作曲修士課程を終了した。B. フラー、R. ソーナーダズ、P. ビローネ、S. タカスギ、F. パニセロなどのマスタークラスに参加している。現在スイスのパーゼルにて G.F. ハースに師事。作品はスペイン、ベルギー、イスラエルなどのアンサンブルや合唱団にて演奏されている。これまでスペイン、中国、アメリカ、イスラエルなどの作曲コンクールで優勝や入賞を果たす。2010年「Bipolar Disorder」が厳しい選考の末、若手作曲家の登龍門である第31回入野賞を受賞した。<http://www.yairklartag.com>

主催：東京シンフォニエッタ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ts/>

助成：芸術文化振興基金、公益財団法人ロームミュージックファンデーション、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

チケットお取り扱い：チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp Pコード136-166 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

お問合せ：東京コンサーツ 03-3226-9755 (月～金 10:00～18:00) <http://tokyo-concerts.co.jp> (HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます。)

東京文化会館：「JR上野駅」公園口正面